

道徳教育全体計画

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
高知県教育委員会の
教育目標等

学校の教育目標
志を高く持ち、自他を尊び、なかまとともに歩む生徒を育成する

目指す生徒像

- 学びの真理を希求し、なかまとともに学び合う生徒の育成（知）
- 自他の尊厳と正義を重んじ、なかまのために行動する生徒の育成（徳）
- 心身ともに健康で、何事も最後までやり抜く気力をもつ生徒の育成（体）

- ・時代や社会の要請
- ・生徒の実態
- ・保護者や地域のねがい
- ・教師のねがい

特別活動

学級活動
○ 集団の一員としての自覚を深め、学校生活の充実と発展に努めようとする態度を育てる。

生徒会活動
○ 自己の言動を検証し、自己改善を図りながら、役割をまっとうする態度を養う。

学校行事
○ 道徳教育実践の基盤は学級にあるという認識のもと、折に触れて道徳教育の実践を図る。集団生活の中で他者とかかわる力を付け、自発的な態度を養う。

道徳教育の目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、個性豊かな文化の創造と民主的な社会及び国家の発展に努め、進んで平和的な国際社会に貢献し、未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養う。

道徳教育の重点目標

- 1 自主的に考え行動する態度を養い、自律性を育成する。
- 2 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場を尊重し、助け合う心を育成する。
- 3 生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する心を育成する。
- 4 社会生活を送るうえで人間として持つべき規範意識を身につける。

各教科

国語
相手の気持ちを考えて適切に伝え合う力を高める。我が国の文化や伝統について関心を高める。

社会
国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公的資質の基礎を養う。

数学
筋道を立てて、論理的に思考し、課題解決に取り組む態度を養う。

理科
自然と人間とのかかわりの認識を認め、科学的な見方や考え方を養う。

美術
美術を愛好する心情とともに豊かな情操を養う。

音楽
合唱・合奏・鑑賞を通じて豊かな感性を養う。

保健
健康・安全への理解を深め、協力し合う態度を育てる。

技家
勤労の尊さを理解し、家庭生活をよりよくしようとする心を養う。

英語
国際理解を深める態度を育てる。コミュニケーション能力を養う。

生徒指導

- 自己理解を深め、自己実現を図るための能力・態度を高める指導の手だてを工夫する。
- 差別や偏見のない、人権尊重の精神の育成に努める。
- 学校、家庭、地域が一貫した指導姿勢をもつための方法を探る。

各学年の重点目標			
	第1学年	第2学年	第3学年
Aの視点	○ 望ましい生活習慣を身に付けることの大切さを自覚し、自らを律し、生活を正す。 A-(1),(2)	○ 自分が決めた目標をめざし、自分を見つめ、自己の向上を図る。 A-(3),(4)	○ より高い目標に向かってねばり強く取り組み、理想の実現をめざす。 A-(1),(5)
Bの視点	○ 助け合いの精神を重んじ、生活を支えている人への感謝の気持ちをもつ。 B-(6)	○ 相手の立場に立って、お互いのよさを認め、励まし合い、高め合う。 B-(6),(8),(9)	○ 人間尊重の精神を基盤に、他者に対して思いやりと寛容の心をもって接する。 B-(6),(9)
Cの視点	○ 法やきまりの意義を理解し、集団の一員としての役割と責任を果たす。 C-(10),(15)	○ 社会連帯の自覚を深め、差別や偏見をなくし、よりよい社会の実現をめざす。 C-(11),(12)	○ 人間としての最低限の規範意識を身につけ、積極的な社会参画の自覚を深める。 C-(10),(12),(13),(15)
Dの視点	○ 身近な自然と触れ合い、生命のつながりを自覚して、生命を尊重する心をもつ。 D-(19),(20),(21)	○ 自然の営みに生命を感じ取り、感動や畏怖の念を深める。 D-(19),(20),(21)	○ 心の弱さや醜さを克服して、自分に恥じない生き方をする。 D-(22)

総合的な学習の時間

- 課題を見つけ、判断し、解決する能力や態度を育てる。
- 学び方や、ものの考え方を身に付け、問題解決や探求活動を通し自己の生き方を考えることができる人間を育成する。

学級経営

- ・一人ひとりを大切に学級集団づくりをめざし、人間尊重の精神を深める。
- ・心の交流を図り、互いに認め合う関係づくりに努める。

道徳の時間

生徒が、ねらいとする道徳的価値を自分の課題として受け止め、豊かにいきいきと表現して、よりよく生きようとする意欲を自ら育もうとする時間をめざす。

- ・多様な体験活動を効果的に関連させ、生かしていく工夫
- ・心に響く資料の選択及び活用、資料提示の工夫

教育環境の整備

- 生徒の豊かな心を育て、道徳的実践意欲を高めるような環境づくりをする。
- ・ 生徒と教師、生徒相互の望ましい人間関係づくり
- ・ 図書館の整備、充実
- ・ 校内緑化の推進

豊かな体験活動

- 全教育活動において、道徳的実践を促したり、道徳的実践力を培ったりするための豊かな体験の場を充実する。
- ・ 人、物、自然とのふれあい
- ・ 各教科の学習
- ・ 総合的な学習の時間の学習
- ・ 道徳の時間の学習
- ・ 職場体験を通じての学習

家庭・地域等との連携

- 学校、家庭、地域三者の相互理解を深め、交流を密にし、協力体制を整える。
- ・ 学校公開日、授業参観、保護者会
- ・ 学校だよりなどの通信作成・発行
- ・ 地域行事への積極的な参加
- ・ 冊子「高知の道徳」やファイルの配布